平成 24 年度　事務事業事後評価調書 （平成　23　年度事業）

整理番号	4	ー	6

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	一般廃棄物収集運搬等業務委託事業					
評価者	担当課名		住民生活課	担当係名		環境衛生係
	管理職	職名	課　長	作成者	職名	係　長
		氏名	渡 邊 孝 司		氏名	苫米地 幸 二
事業の概要	町の定めた一般廃棄物処理基本計画に基づき、雄武町全域の家庭系ごみの収集運搬業務、紋別リサイクルセンターへの資源ごみの搬入、処理施設の管理業務及び臨時的収集を業務内容とし、平成10年度より民間業者に委託。			全体計画 /単年度繰返 （平成 20 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	33,514 千円
					一般財源	145,731 千円
					事業費計	179,245 千円
実施方法	直営	■	民間委託		その他 （ ）	
第５期 総合計画（前期）	■	登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～			
	基本施策	15	環境の保全			
	単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画・廃棄物処理法				

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（実績）	23年度（実績）	24年度（見込）
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	7,703 千円	6,000 千円	6,200 千円	6,200 千円	6,200 千円
	雄武町負担額（一般財源）	28,147 千円	29,443 千円	28,605 千円	28,605 千円	28,608 千円
	合計	35,850 千円	35,443 千円	34,805 千円	34,805 千円	34,808 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町民が排出するごみ。	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	各家庭から出されるごみの適正な収集運搬・処理及びコスト節減。	ごみの適正な収集運搬・処理		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	町内の環境・公衆衛生維持のため、迅速かつ効率的な収集及びコスト節減。	① ごみの適正な処理量	目標年度	平成23年度
			目標値	1748 t
			実績値	1748 t
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	祝日もごみの適正な収集運搬・処理を行う等、住民サービスの向上を図る。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内　容（どのような手段で何を行ったか）	
民間業者への業務委託	住民サービスの向上と経費節減のため、民間企業に業務委託した。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	民間委託により、祝日もごみの適正な収集運搬・処理を行う等、住民サービスの向上が図られている。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	収集に係る町民よりの苦情はなく、スムーズに業務が遂行されていると判断されるし、直営に比べ経費の圧縮につなっがている。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	民間委託により、祝日もごみの収集運搬・処理を行い、経費の節減も図られている。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	町内全域が収集区域であり、全町民がサービスを享受するため直営同様に公平である。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
平成21年度からは祝日に関係なく（元日を除く）、月曜日から金曜日までごみの収集・処理を実施するなど、住民サービスの向上が図られていることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
各家庭から出されるごみの適正な収集運搬・処理及びコスト節減のため現状維持が適当である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）